



26.3.4
統合幕僚監部

(お知らせ)

派遣海賊対処行動水上部隊による遭難船への対応について

派遣海賊対処行動水上部隊の護衛艦「さみだれ」がアデン湾において遭難船舶への対応を行いましたのでお知らせします。

1 時期

平成26年3月2日（日）～3月3日（月）

2 発生場所

アデン湾西部

3 事案の概要

3月2日夜（現地時間3月2日午後）、護衛活動開始までの間待機していた護衛艦「さざなみ」の搭載ヘリが、白い布を振っているダウ船の乗組員を発見。当該情報を受け、ゾーンディフェンスを実施中の護衛艦「さみだれ」が現場海域に向かい、当該乗組員に対して救助の要否を確認したところ、当該乗組員が救助を要請。

「さみだれ」に乗艦している隊員が、当該ダウ船の乗組員に対して聞き取りを実施したところ、当該ダウ船はソマリアのボサッソー港からイエメンのムッカラ港に向け航行中にエンジンが故障し、約10日間漂流していたことを確認。その後、当該隊員は、当該乗組員に対して、飲料水及び食料を提供。

「さみだれ」は、現地の日の出まで、当該ダウ船の付近で警戒監視を実施。その後、「さみだれ」は、CTF151を通じてイエメンの沿岸警備隊と調整した当該ダウ船の引渡し予定海域に向け、当該ダウ船の曳航を開始。3月3日夜（現地時間3月3日午後）、イエメンのアデン港の沖合において、「さみだれ」は、当該ダウ船をイエメンの沿岸警備隊に引き渡した。

4 その他

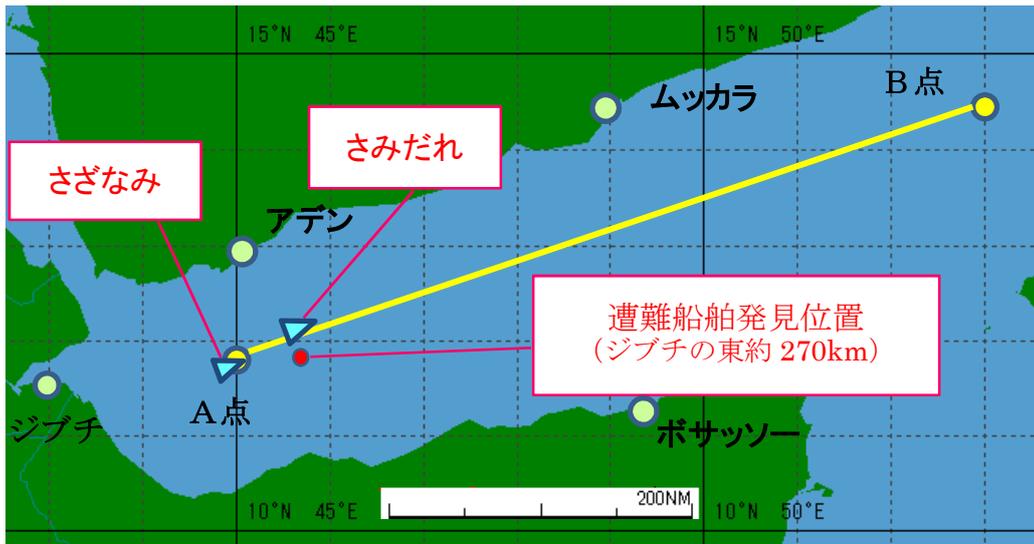
第17次派遣海賊対処行動水上部隊（隊員数約400名）

指揮官：第4護衛隊司令 1等海佐 田尻 裕昭（たじり ひろあき）

「さみだれ」艦長 2等海佐 斎藤 貴（さいとう たかし）

「さざなみ」艦長 2等海佐 林 泰弘（はやし やすひろ）

事象発生時の位置関係（イメージ）



当該船舶（発見時の状況）



曳航時の状況

